

令和 5 年度 事業計画書

自：令和 5 年 4 月 1 日

至：令和 6 年 3 月 31 日

一般社団法人 大学アライアンスやまなし

1. 活動方針

一般社団法人 大学アライアンスやまなし(以下、本法人)は、大学相互間や大学と研究機関等との間における連携推進事業を行い、教育、人材育成、研究及び運営に係る各種事業を円滑に実施できる仕組みを構築することを目指している。

本法人が令和3年3月に全国初となる“大学等連携推進法人”に認定されたことで、参加法人会員(以下、参加大学)は、令和3年度から教学上の特例措置を活用した“連携開設科目”を開設し、これまでにない教育事業を展開することで一定の成果を挙げてきたところである。

令和5年度においては、従前の教養教育、看護教育に加え、幼児教育と教職分野でも新たに“連携開設科目”を実施することで昨年度の132科目から156科目に増加させ、参加大学の教育事業の更なる推進に貢献する。また、参加大学である山梨大学及び山梨県立大学が令和4年度に文部科学省の地域活性化人材育成事業(SPARC)に採択され、事業実施にあたっては“連携開設科目”を活用することから、本法人の枠組みにおいて、その円滑な事業実施に寄与するべく、大学間の連携及び調整に協力する。

さらに教育分野での連携に限定せず、令和3年度に策定した“中期事業計画(令和3年11月4日総会決議)”に基づき、管理運営に係る共同調達や、合同の教職員研修の開催などスケールメリットを活かした連携事業を引続き実施するなど、参加大学の効率的な大学運営にも貢献していく。また、昨年度、新たに設置した“学生支援WG”を中心に、進路及び修学支援に係る連携事業の充実を図ることで、参加大学の学生が大学間連携のメリットを享受できる環境を整備するとともに、連携事業に係る検討から実施に至るプロセスを着実に進め、次期中期事業計画の策定に向け、これまでの連携事業に対する検証を行うなど、事業継続に向けた取組を行っていく。

これら、幅広い分野における事業の企画等においては、参加大学と連携を強化することで密接な協力体制を構築するとともに、事業構想にあたっては、地域社会からの要望等を踏まえつつ、大局的な視点を取入れ、本法人が参加大学に対して適切にガバナンスを掛けることで、連携事業の推進や実行性を担保していく。

本法人の枠組みにより、参加大学の機能強化を促進できるよう、柔軟かつ迅速に対応できるよう、前例にとらわれない方法や仕組み等を積極的に取り入れていくとともに、予算や人員などの資源を優先して投下し、本法人の運営体制及び参加大学の組織整備を遅滞なく進めていく。

2. 事業計画

2-1: 総務関係

2-1-1: 会議等の開催

本法人の事業運営及び財務等に関する重要事項の審議や、本法人に対する多様な意見を把握するとともに、運営に反映するため、次の会議等を開催する。

また、参加大学間で行う各種連携事業等の実施に必要なルール等を制定するなど、円滑な事業を実施できる環境整備に取り組むこととする。

さらに、理事会の傘下に設置した委員会においては、参加大学間で行う具体的な連携事業に係る企画及び本法人の中期的な事業構想等の検討や、教学面での管理体制を整備し、教育に係る連携事業及びその質保証を担保する。

- (1) 総会
- (2) 理事会
- (3) 大学等連携推進評議会
- (4) その他 会議等
 - ・ 連携事業実施委員会
 - ・ 教育の質保証委員会
 - ・ その他

2-1-2: 事務局の運営

本法人の事務局では、会員との正確かつ迅速な情報共有を図るとともに、参加大学間で効果的な連携体制を構築する。また、一般社団法人の運営に係る各種会議の開催及び諸手続きや、大学等連携推進法人制度に係る届出・報告をはじめ、法人運営を円滑に行っていくため、次の事業を行う。

- (1) 事務局組織の機能強化
- (2) 法人・事務局運営に係る業務改善
- (3) 法人運営に必要な各種規則等の整備
- (4) 関係機関等への諸手続き
- (5) 法人の運営及び活動に係る各種情報収集等

2-1-3: 広報機能の強化

本法人の活動状況や、両大学が取り組む連携事業の取組を両大学の学生及び地域社会をはじめとする関係者に広く周知するため、様々な広報媒体及び諸活動を通じて、次の事業を行う。

- (1) 参加大学の学生及び高校生を対象としたホームページの充実
- (2) 参加大学の学生への活動内容の周知活動
- (3) 地元高校生をはじめとする進学希望者を対象とした PR 活動
- (4) 各種連携事業の実績等の広報
- (5) 報道機関等からの取材対応
- (6) 高等教育機関等からの問合せ対応
- (7) ホームページを活用した本法人の適切な情報公開

2-2: 大学等連携推進事業関係

2-2-1: 大学等連携推進事業の運営体制の強化

地域社会及び学生のニーズを把握し、参加大学が連携して行う各種事業に反映させるなど、本法人が一定のガバナンスを掛けることで実効性を担保する仕組みを構築するため、次の事業を行う。

- (1) 大学等連携推進評議会を活用し、様々なステークホルダー等から本法人の事業内容や運営に対する意見を聴取
- (2) 地域社会からの高等教育に対する意見等を聴取するため、関係機関等との連携を検討
- (3) 参加大学の大学間連携に係る関連部署と定期的に情報共有や、意見交換を実施することで、企画・立案機能を強化

2-2-2: 大学等連携推進事業の実施体制の整備

連携事業の円滑な実施や教育の質を担保する仕組みを稼働させるため、次の事業を行う。

(1) 連携事業実施委員会

- ① 委員会傘下に設置した検討 WG が効率的な活動ができるよう、検討事項等の整理をし、再編を行うとともに、必要に応じて新たな検討 WG を立ち上げる。
- ② 傘下検討 WG からの意見を踏まえ、連携事業に係る基本方針や管理運営に係る事項について協議し、円滑な事業実施を図る。また、連携を進める上での課題等について、必要に応じて参加大学へ検討依頼を行う。
- ③ 第 1 期中期事業計画(令和 3 年度～令和 5 年度)の検証について検討を行うとともに、第 2 期中期事業計画(令和 6 年度～令和 8 年度)策定に向けた準備を進める。

(2) 教育の質保証委員会

- ① 連携教育事業の計画に対し質保証の観点から検証を行うとともに、質保証を担保するために整備された基準等に基づき、実施後の点検・評価を行う。
- ② 連携開設科目の点検・評価の検証における「事業プログラム(連携教育事業)の成果に関する観点」について、必要となる資料及び基準等を整備する。

2-2-3:具体的な大学等連携推進事業の実施

大学等連携推進方針及び中期事業計画並びに本事業計画書に定める活動方針に沿って、令和5年度は教育及び研究並びに管理運営をはじめとする様々な分野において、以下の大学間連携事業を実施する。

(1) 学生教育の充実及び支援

- ① 参加大学の強み・特色を活かした“連携開設科目”を、引き続き教養教育分野を中心に開設する。また、“連携開設科目”の開設にあたり課題であった学年歴等については、参加大学で検討を行い、学生により良い学修環境の整備を行う。
- ② 令和4年度に各大学で検討が進められた教養教育改革の方針の情報共有を行い、教養教育全体における連携の在り方の方針を策定し、実施体制の整備を行うと共に、学生及び教職員の負担軽減を目的とした教育システムの改修等を進める。
- ③ 社会的ニーズが高まっているデータサイエンス教育の必要性について学生及び教員に理解を促し、教育内容の充実及び履修者の増加に向けた検討を行う。
- ④ 参加大学の各種センター等において、学生に対する修学支援についての情報交換を行う。

(2) 高度専門人材の養成

- ① 看護教育分野では、令和4年度から開設している大学院(修士課程)の“連携開設科目”を引き続き令和5年度も開設する。また、参加大学間で“連携開設科目”に対する要望調査や、情報交換を実施し、次年度以降に活用していく。

- ② 幼児教育分野では、学士課程の一部専門科目を令和 5 年度から“連携開設科目”として開設し検証等を行う。また、やまなし幼児教育センターと連携し、幼児教育アドバイザー事業(幼児教育 WG 教員が参画)などを継続実施する。
- ③ 教職課程における一部科目を“連携開設科目”として令和 5 年度から開設し、その進捗を見極めながら両大学における教職課程について検討を進める。
- ④ 大学院での地域課題解決に関する新教育プログラムについて引き続き検討を行う。
- ⑤ 「知(地)のソーシャルキャピタル～学びの山梨モデル～構築事業」の実施に伴い、将来的な大学院レベルへの連携を見据え、社会科学分野等の学部専門科目の連携について検討を進める。

(3) 教育資源の有効活用

- ① 施設の共同利用や参加大学の学生を対象とした共同就職支援事業の開催など、参加大学間の教育資源を活用した取組事例を増やす。
- ② 両大学が参加できる国際交流に関する活動等を引き続き実施する。
- ③ 広く一般を対象とする地域貢献活動(リカレント教育等)について、カリキュラム案や準備を継続する。

(4) 学生間及び教職員間の交流

- ① 新型コロナウイルスの感染状況を勘案したうえで、学生支援活動等の場において、参加大学の学生が交流できる機会を設ける。
- ② 教職員の能力開発のための合同教職員研修や事務系職員の人事交流など、参加大学の教職員のスキルアップに繋がる事業を引続き、実施する。

(5) 効率的な大学運営

- ① 参加大学の連携により、スケールメリットを活かした共同調達等を引き続き実施し、ランニングコストの縮減を進める。

2-3:その他

(1) 補助事業への協力

- ① 参加大学が、地域活性化人材育成事業(SPARC)に採択され、大学等連携推進法人制度の教学上の特例措置を活用した連携開設科目を活用した事業を行うことから、事業実施にあたり本法人の枠組み(検討WG)を活用して参加大学間の調整を行う。
- ② 参加大学が、大学等連携推進法人制度を活用した各種補助事業の申請を行う場合においては積極的な協力をを行う。

(2) 大学等連携推進法人制度の情報提供

- ① 大学等連携推進法人制度の認定を受けた一般社団法人が増加するとともに、各地域において認定を見据えた一般社団法人設立の動きがあることから、制度普及の観点から、他機関からの問合せに適宜対応する。
- ② 大学等連携推進法人制度を活用した山梨県内の高等教育機関との連携の在り方等について、関係者及び有識者の意見を聞くなど、具体的な検討を行う。

以上

令和5年度 連携開設科目一覧

主幹大学	継続	新規	合計
山梨大学	54	23	77
山梨県立大学	62	17	79
合計	116	40	156

(教養教育分野)

注)番号が網掛けになっているものは「継続科目」、白地は「新規科目」です。

No.	科目名	主幹大学	備考
1	日本事情 I	山梨大学	前期
2	大学生のための言語表現	山梨大学	前期
3	国際理解と多文化共生	山梨大学	前期
4	書の様式と鑑賞	山梨大学	前期
5	こころと体の障害の理解と支援	山梨大学	前期
6	医工学と現代社会	山梨大学	前期
7	医療の最先端	山梨大学	前期
8	人体の生命科学	山梨大学	前期
9	健康とスポーツの科学	山梨大学	前期
10	グローバルヘルス入門	山梨大学	前期
11	家庭の中のエレクトロニクス	山梨大学	前期
12	ワインと宝石	山梨大学	前期
13	これからの機械技術	山梨大学	前期
14	ガイア仮説と地球システム科学	山梨大学	前期
15	自然災害と都市防災	山梨大学	前期
16	光る分子の科学	山梨大学	前期
17	ソフトウェアプロジェクト管理	山梨大学	前期
18	特別支援教育総論	山梨大学	前期
19	Health System and Well-being in the World	山梨大学	前期
20	English for Studying Abroad I	山梨大学	前期
21	山梨大学から見る大学の歴史と現在	山梨大学	前期
22	教育史からみた近代	山梨大学	前期
23	不登校事例を通して学ぶ発達臨床心理学	山梨大学	前期
24	大学生のためのセルフマネジメント	山梨大学	前期
25	数学的に考えるとは	山梨大学	前期
26	食から見える世界いろいろ	山梨大学	前期
27	Language and Communication across Cultures	山梨大学	前期
28	保育と社会	山梨大学	前期
29	消費者教育	山梨大学	前期
30	人間と文化	山梨県立大学	前期
31	人間と心	山梨県立大学	前期
32	宇宙の科学	山梨県立大学	前期

No.	科目名	主幹大学	備考
33	日本の歴史	山梨県立大学	前期
34	欧米の歴史 I	山梨県立大学	前期
35	生活環境論	山梨県立大学	前期
36	簿記論	山梨県立大学	前期
37	倫理学	山梨県立大学	前期
38	生と幸福	山梨県立大学	前期
39	国際協力	山梨県立大学	前期
40	VUCA時代のキャリアレジリエンス	山梨県立大学	前期
41	地域しごと概論(経営マインド)	山梨県立大学	前期
42	問題発見の技法	山梨県立大学	前期
43	地域資源の保全と活用	山梨県立大学	前期
44	事業づくりの技法	山梨県立大学	前期
45	政策づくりの技法	山梨県立大学	前期
46	多文化対応人材育成演習(教育)	山梨県立大学	前期
47	多文化対応人材育成演習(保健・医療・福祉)	山梨県立大学	前期
48	韓国語 I a	山梨県立大学	前期
49	人間と芸術－文学	山梨県立大学	前期
50	メディア・リテラシー	山梨県立大学	前期
51	多文化共生地域課題2(多文化社会における対人援助/外国人と人権)	山梨県立大学	前期
52	データサイエンス入門	山梨大学	後期
53	日本古代の政治と文化	山梨大学	後期
54	子ども文化	山梨大学	後期
55	日本事情Ⅱ	山梨大学	後期
56	ドイツ語圏の文学	山梨大学	後期
57	現代生活とバイオテクノロジー	山梨大学	後期
58	頭と身体の運動学	山梨大学	後期
59	臨床心理学を学ぶ	山梨大学	後期
60	人間とコンピュータ	山梨大学	後期
61	クリスタルサイエンス	山梨大学	後期
62	水圏植物の生物学	山梨大学	後期
63	物理パズルで親しむ身近な自然現象	山梨大学	後期
64	生命を科学する	山梨大学	後期
65	地球環境化学とエネルギー	山梨大学	後期
66	プラスチックの科学	山梨大学	後期
67	富士山学	山梨大学	後期
68	メカトロニクス入門	山梨大学	後期
69	現代教育政策論	山梨大学	後期
70	English for Studying Abroad II	山梨大学	後期
71	ヨーロッパ中世の諸相	山梨大学	後期
72	日本の近代文学	山梨大学	後期
73	現代の体育・スポーツを考える	山梨大学	後期
74	こころの健康づくり	山梨大学	後期
75	数学的見方	山梨大学	後期
76	人と社会の情報化	山梨大学	後期

No.	科目名	主幹大学	備考
77	人間理解の心理学	山梨大学	後期
78	教育問題から見た現代社会	山梨大学	後期
79	大学入学から考えるアメリカ社会	山梨大学	後期
80	運動と人間－講義	山梨県立大学	後期
81	人間と思想	山梨県立大学	後期
82	社会と政治	山梨県立大学	後期
83	生物の科学	山梨県立大学	後期
84	環境論	山梨県立大学	後期
85	日本語の方言と山梨	山梨県立大学	後期
86	文化とコミュニケーション	山梨県立大学	後期
87	簿記演習	山梨県立大学	後期
88	地域のチャレンジ1	山梨県立大学	後期
89	地域のチャレンジ2	山梨県立大学	後期
90	おもてなしマイスター養成講座	山梨県立大学	後期
91	観光実践マネジメント講座	山梨県立大学	後期
92	政策づくり実践演習	山梨県立大学	後期
93	国際貿易実務	山梨県立大学	後期
94	多文化社会とことば	山梨県立大学	後期
95	グローバルビジネススキル	山梨県立大学	後期
96	韓国語 I b	山梨県立大学	後期
97	社会と法	山梨県立大学	後期
98	発達と教育の心理	山梨県立大学	後期
99	付加価値を生む地域資源の保全とブランド化	山梨県立大学	後期
100	金融リテラシー向上講座～お金の過去・現在・未来～	山梨県立大学	後期
101	多文化共生地域課題1(山梨県の多文化化)	山梨県立大学	後期
102	多文化共生を目指した地域課題プロジェクト	山梨県立大学	後期
103	芸術活動をとおした多様性協働プロジェクト	山梨県立大学	通年
104	やまなしワイン入門講座	山梨県立大学	通年
105	フューチャーサーチ	山梨大学	集中
106	災害支援	山梨県立大学	集中
107	グローバルマインドとスキル	山梨県立大学	集中
108	通訳入門実践	山梨県立大学	集中
109	実用中国語	山梨県立大学	集中
110	ネイチャーガイド演習1	山梨県立大学	集中
111	ネイチャーガイド演習2	山梨県立大学	集中
112	日本ワイン歴史マイスター養成講座	山梨県立大学	集中
113	ワークショップデザイン	山梨県立大学	集中
114	まちづくりの思想と技術	山梨県立大学	集中
115	ローカルデザイン実践演習	山梨県立大学	集中
116	事業づくり実践演習	山梨県立大学	集中
117	企業がチャレンジする経営革新	山梨県立大学	集中
118	事業計画づくりワークショップ	山梨県立大学	集中
119	トレンド予測の手法	山梨県立大学	集中

No.	科目名	主幹大学	備考
120	イノベーション創造の基礎と実践	山梨県立大学	集中
121	ブランディング基礎と実践	山梨県立大学	集中
122	企業におけるレクチャーと現場研修	山梨県立大学	集中
123	保健医療福祉における文化理解	山梨県立大学	集中
124	多文化共生の現場を歩く	山梨県立大学	集中
125	アントレプレナーシップとスキル	山梨県立大学	集中
126	アイデア共創実践	山梨県立大学	集中
127	ビジネス共創実践	山梨県立大学	集中
128	地域の豊かさ	山梨県立大学	集中
129	料理とワインのマリアージュ	山梨県立大学	集中

(留学生対象科目)

No.	科目名	主幹大学	備考
130	日本語演習A	山梨大学	前期
131	日本語初中級IA	山梨大学	前期
132	日本語初中級IB	山梨大学	前期
133	日本語中級IA	山梨大学	前期
134	日本語中級IB	山梨大学	前期
135	日本語中上級I	山梨大学	前期
136	日本語上級I	山梨大学	前期
137	ビジネス日本語	山梨大学	前期
138	アカデミックジャパニーズ(Writing)	山梨県立大学	前期
139	アカデミックジャパニーズ(Reading)	山梨県立大学	前期
140	日本語初中級ⅡA	山梨大学	後期
141	日本語初中級ⅡB	山梨大学	後期
142	日本語中級ⅡA	山梨大学	後期
143	日本語中級ⅡB	山梨大学	後期
144	日本語中上級Ⅱ	山梨大学	後期
145	日本語上級Ⅱ	山梨大学	後期
146	日本語LR	山梨大学	後期

(看護教育分野:大学院)

No.	科目名	主幹大学	備考
147	国際看護学特論	山梨大学	前期
148	排泄看護学特論	山梨大学	前期
149	看護政策学	山梨県立大学	前期
150	コンサルテーション	山梨県立大学	後期
151	看護倫理学	山梨県立大学	後期
152	フィジカルアセスメント	山梨県立大学	後期

(幼児教育分野)

No.	科目名	主幹大学	備考
153	継続観察実習	山梨大学	後期
154	保育者指導	山梨県立大学	後期

(教職課程分野)

No.	科目名	主幹大学	備考
155	英米文学購読Ⅱ	山梨大学	前期
156	欧米の国際関係	山梨県立大学	後期